



ほけんだより



こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年7月1日

夢見ヶ崎保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後の気温の高い日は、体が暑さに慣れていないため熱中症に注意が必要です。水分補給や体調管理に気をつけましょう。暑いからと室内ばかりで過ごさず、涼しい時間帯には短時間の外遊びをするなど、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

夏に多い感染症



咽頭結膜熱(プール熱)

原因：アデノウイルスによる飛沫・接触感染。
目やにや便からうつすることもある。

症状：39℃前後の発熱とのどの痛みがあり、
目のかゆみや痛み、充血、涙など結膜炎
の症状が出るのが特徴です。

★感染力が強いので、症状がなくなり2日経過するまでは登園停止になり、登園には医師の許可書が必要となります。

流行性角結膜炎(はやり目)

原因：アデノウイルスの接触・飛沫感染。

症状：瞼の腫れや異物感、痛み、充血、目やにや発熱、下痢を伴うこともある。

★感染力が強く、プールだけでなくタオルの共有や手指の接触によっても感染する。
登園停止となり、登園には医師の許可書が必要となります。

手足口病

原因：コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状：熱や手のひらや足の裏、口の中に小さな水ぼうや発しができる。

★3～5日で症状が軽快するが、まれに髄膜炎などの合併症をおこすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う熱が続くときは、すぐに受診しましょう。

ヘルパンギーナ

原因：コクサッキーウイルスなどの飛沫感染。

症状：高熱、のどの痛みが特徴です。のどに水ぼうや潰瘍ができて痛みがひどく、水分もとれなくなることもある。

★のどの痛みは熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは安静に過ごしましょう。



あせも

汗を分泌するところに、汗やほこりなどが詰まって炎症が起こった状態です。汗をかきやすい部位に赤いポツポツがたくさんでき、かゆくなります。



シャワーなどで汗をよく流しましょう。
外出先などでは、汗の成分が皮膚に残らないよう、濡らしたタオルなどで汗を拭いてあげましょう。



7月の園医健診

7月17日(木)

0・1歳児



イラスト出典：メイト・クリエイティブ